

# LR独立保証声明書

## 野村不動産ホールディングス株式会社の 2020 年度温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量に関する保証

この保証声明書は、契約に基づいて野村不動産ホールディングス株式会社に対して作成されたものであり、報告書の読者を意図して作成されたものである。

### 保証業務の条件

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド（以下、LR という）は、野村不動産ホールディングス株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、野村不動産ホールディングスの 2020 年度（2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）の会社の温室効果ガス（GHG）排出量及びエネルギー使用量に対して、重要性の基準値 5%において、検証基準として ISO14064-3:2019 及びエネルギー使用量に対しては ISAE3000 を用いて、限定的保証レベルの独立保証業務を実施した。

我々の保証業務は、会社とその国内外連結対象子会社における運営及び活動に対し、以下の要求事項を対象とする。

- 温室効果ガスについては ISO14064-1:2018 及び自社算定基準に従っていることの検証
- 以下の選択された GHG 排出量及びエネルギー使用量の正確性及び信頼性の評価
  - GHG 排出量<sup>123</sup>
    - GHG 排出量スコープ 1（トン CO<sub>2</sub>e）
    - GHG 排出量スコープ 2 [マーケット基準]（トン CO<sub>2</sub>e）
    - GHG 排出量スコープ 3（カテゴリー1 及び 11）（トン CO<sub>2</sub>e）
  - エネルギー使用量（MWh）

保証業務の範囲は、会社のサプライヤー及び業務委託先、その他報告書で言及される第三者に関するデータ及び情報を除くものとする。

LR の責任は、会社に対してのみ負うものとする。脚注で説明されている通り、LR は会社以外へのいかなる義務または責任も放棄する。会社は、報告書内のすべてのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

### 保証意見

LR の保証手続きにおいて、会社が

- 上述の要求事項を満たしていない
  - 下表 1 に要約される正確で信用できる GHG 排出量及びエネルギー使用量を開示していない
- ことを示す事実は認められなかった。この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準及び検証人の専門的判断による重要性に基づいて形成された。

**注:**限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。

### 保証手続

LR の保証業務は、ISO14064-3 およびエネルギー使用量については ISAE3000 に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が行われた。

<sup>1</sup> 排出量の大きさ／量が小さい組織は対象から除外した（GHG 排出量総量の 0.05%未満）。

<sup>2</sup> エネルギー起源 CO<sub>2</sub>以外の GHG は、地球温暖化対策推進法に基づき、ガスごとの排出量が 3,000tCO<sub>2</sub>e 未満の場合、算定対象外としている。

<sup>3</sup> GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる。

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための会社のデータマネジメントシステムを審査した。LR は、内部検証を含め、データの取り扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。また、データの集計を行い、報告書を作成する、主要な関係者へのインタビューを実施した。
- サンプルング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 2020 年度の GHG 排出量データ、エネルギー使用量データ、並びに記録の検証を実施した。
- データの収集及び記録管理の実施状況を確認するため、浜松町ビルディングおよび横浜ビジネスパークを視察した。

### 観察事項

会社は、本体と子会社の双方における強固な内部管理システムを構築することにより、今後のGHG排出量とエネルギー使用量の報告において、完全性、正確性、信頼性を更に向上することが期待される。

### 基準、適格性及び独立性

LRはISO14065 温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項、ISO17021-1 適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項-第1部 要求事項の認定要求事項に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準1と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRが会社に対して実施した業務はこの検証のみであり、それ自体が我々の独立性あるいは中立性を損なうものではない。

署名

2021年9月16日



柴田美典

LR 主任検証人

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 10F

LR reference: YKA00000926

表 1. 野村不動産ホールディングス株式会社の 2020 年度データの要約

対象項目		
スコープ 1 GHG 排出量		20,119 トン CO <sub>2</sub> e
スコープ 2 GHG 排出量 [マーケット基準]		112,087 トン CO <sub>2</sub> e
スコープ 3 GHG 排出量	カテゴリー1	453,707 トン CO <sub>2</sub> e
	カテゴリー11	834,184 トン CO <sub>2</sub> e
エネルギー消費量 (スコープ 1 およびスコープ 2)		381,817 MWh

Lloyd's Register Group Limited, its affiliates and subsidiaries, including Lloyd's Register Quality Assurance Limited (LRQA), and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'Lloyd's Register'. Lloyd's Register assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant Lloyd's Register entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract. The English version of this Assurance Statement is the only valid version. Lloyd's Register Group Limited assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © Lloyd's Register Quality Assurance Limited, 2021. A member of the Lloyd's Register Group.